

(別紙)

令和5年度事業報告

■採卵経営をめぐる情勢

地球規模での気候変動や国際情勢の不安定化、歴史的な円安の進行に伴うエネルギー・穀物・生産資材価格等の高騰などにより、大きな影響を受けた1年となった。

鶏卵生産費で大きな割合を占める配合飼料価格は、配合飼料の主な原料であるトウモロコシの国際価格がウクライナ情勢等を受けて上昇していたことや、為替相場の影響により上昇した。その後トウモロコシの国際価格が下落したこと等を受け、依然として高水準であるものの、概ね下落傾向で推移した。

高病原性鳥インフルエンザの発生についてみると、令和5年11月25日、佐賀県での発生を皮切りに9県10事例発生し、約79,3万羽が殺処分された。令和4年シーズンからは大幅に減少したものの、予断を許さない状況が続いた。

東京市場における鶏卵相場は1kg当たりのM基準値（月平均）において4、5月は350円と平成以降の最高値を更新していたが、高病原性鳥インフルエンザの発生農場において再導入が進んだことや、鳥インフルエンザの影響により減少した加工用の需要が回復していないこと等を受け、6月以降は下落傾向で推移しているものの、引き続き例年を上回る水準で推移した。

上半期の鶏卵相場は比較的高水準で推移したものの、それは配合飼料価格の高止まりで自主減産をしていた中、飼養羽数の1割強が殺処分された令和4年シーズンの鳥インフルエンザ多発による急激な供給減少の長期化による需給バランスの崩れが原因であり、必ずしも生産コストを価格転嫁できた訳ではない。その後、品薄高で外食チェーンによる卵離れや輸入粉卵への切り替えなど加工・業務需要の減少が固定化した一方で、急激な再導入が進み需給が緩み、1月には23か月ぶりとなる鶏卵生産者経営安定対策事業の価格差補填が発動するなど、養鶏経営をめぐる環境はより厳しさを増した。

このような状況の中、個々の経営では解決できない問題に対し、団体での組織的な活動を行うことが求められた。

そうした情勢を踏まえ、昨年度具体的に展開した諸活動は以下のとおりである。

(1) 第57回通常総会

日 時：令和5年6月21日(水)

議 事：第1号議案 令和4年度事業報告に関する件
第2号議案 令和4年度収支決算および監査報告に関する件
第3号議案 令和5年度事業計画に関する件
第4号議案 令和5年度収支予算および会費の徴収に関する件
第5号議案 役員の改選に関する件
第6号議案 要望書決議「持続可能な養鶏業を作るための要望書」に関する件

(2) 役員会・正副会長会議等

1) 第1回正副会長会議

日時：令和5年5月10日(水)

方法：現地参集・WEB併用方式

内容：令和5年度総会提出議案・6月セミナーについて・大臣要請について など

2) 理事会

日時：令和5年6月9日(金)

内容：総会議案について など

※書面決議

3) 第2回正副会長会議(臨時)

日時：令和5年6月22日(水)

方法：現地参集

内容：農林水産大臣への要請について など

4) 第3回正副会長会議(臨時)

日時：令和5年7月11日(火)

方法：現地参集

内容：農林水産大臣への要請・消費・安全局との意見交換 など

5) 第4回正副会長会議

日時：令和5年8月9日(水)

方法：現地参集・WEB併用方式

内容：賛助会員の新規加入について・下半期の活動について・9月セミナー

について など

6) 第5回正副会長会議

日時：令和5年11月7日(火)

方法：現地参集・WEB併用方式

内容：12月セミナーについて・第53回全国農業経営者研究大会について
など

7) 第6回正副会長会議（拡大）

日時：令和6年2月2日（金）

方法：現地参集

内容：3月セミナーについて・令和6年度活動計画について など

（3）セミナー・研究会等の開催

1) 6月セミナー

日時：令和5年6月21日（水）

方法：現地参集・WEB併用方式

参加者：54名

内 容：

◆基調講演

「家禽栄養学と養鶏用飼料について～鶏を知りエサを学び直す～」

DSM ニュートリショナルプロダクツアジアパシフィック社

アジア環太平洋地区テクニカルマーケティングマネジャー

早川 岳彦 氏

◆飼料セミナー

①「トウモロコシの今後の相場見通しについて」

兼松株式会社 穀物飼料部穀物課 萩原 伸之介 氏

②「配合飼料について」

株式会社ゼンケイ 営業部 課長 岡村 こゆみ 氏

2) 9月セミナー

〈1日目〉

日時：令和5年9月20日（水）

方法：現地参集・WEB併用方式

参加者：51名

内容：

◆食鳥セミナー

「食鳥処理業の現状と課題～食鳥の付加価値向上を目指して～」
株式会社三和食鶏 取締役経営企画室長兼営業部長 竹内 威 氏

◆農場セミナー

「農場の分割管理について」
農林水産省 消費・安全局 動物衛生課 課長補佐 松井 裕佑 氏

◆飼料セミナー

- ①「トウモロコシの今後の相場見通しについて」
兼松株式会社 穀物飼料部穀物課 高橋 千明 氏
- ②「配合飼料について」
株式会社ゼンケイ 営業部 課長 岡村 こゆみ 氏

〈2日目〉

日時：令和5年9月21日（木）

方法：現地参集

参加者：16名

内容：株式会社三和食鶏・株式会社境食鳥などの食鳥処理場の見学

3) 12月セミナー

日時：令和5年12月19日（火）

方法：現地参集・WEB併用方式

参加者：72名

内容：

◆鳥インフルエンザセミナー

「養鶏現場の獣医師が考える高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）
2023年～2024年シーズンへの提言」

株式会社PPQC 研究所 代表取締役社長 白田 一敏 氏

◆鶏卵需給セミナー

- ①「鶏卵の需給動向と今後の見通しについて」
JA全農たまご株式会社 東日本営業本部 第1営業部 鶏卵課
課長 中田 純司 氏
- ②「緊急時鶏卵安定供給対策について」
農林水産省 畜産局 食肉鶏卵課 課長補佐 鈴木 浩幸 氏
係長 渡邊 弘樹 氏

◆飼料セミナー

①「四半期コーン相場見通し」

兼松株式会社 穀物飼料部穀物課 高橋 千明 氏

②「配合飼料について」

株式会社ゼンケイ 営業部 課長 岡村 こゆみ 氏

4) 第 53 回全国農業経営者研究大会養鶏分科会（弊社主催）

日時：令和 6 年 2 月 2 日（金）

方法：現地参集・WEB 併用方式

参加者：29 名

内容：

①「鳥インフルエンザに対する経営支援対策について」

農林水産省 消費・安全局 動物衛生課 課長補佐 田中 信行 氏

②「家畜防疫互助基金支援事業と鳥インフルエンザ経営再建保険」

一般社団法人日本養鶏協会 業務第一部長 野澤 篤也 氏

5) 3 月セミナー

日時：令和 6 年 3 月 21 日（木）

方法：現地参集・WEB 併用方式

参加者：73 名

内容：

◆スマート農業セミナー

①「株式会社 N.G.C における農場の DX 化」

株式会社 N.G.C 代表取締役 鈴木 康太郎 氏

②「鶏舎管理システムの概要と採卵養鶏への応用の可能性」

兼松フューチャーテックソリューションズ株式会社

第三営業本部 システムソリューション営業部 部長 小林 修 氏

③「IoT 技術を活用した資料残量の計測/管理システム『Milfee』の紹介」

佐鳥電機株式会社 システムソリューション事業本部

理事 河井 修一 氏

システム営業部 専任部長 山川 弥彦 氏

株式会社 YE DIGITAL ソリューション営業本部

DX 営業部 八尋 大起 氏

◆飼料セミナー

①「四半期コーン相場見通し」

兼松株式会社 穀物飼料部穀物課 高橋 千明 氏

②「配合飼料について」

株式会社ゼンケイ 営業部 課長 岡村 こゆみ 氏

(4) 青年部

1) 第1回役員会

日時：令和5年6月21日(水)

方法：現地参集

内容：今後の青年部活動・現地研修会・役員改選について など

2) 現地研修会

日時：令和5年7月26日(水)～27日(木)

場所：兵庫県・岡山県

参加者：31名

内容：

◆1日目

「農場のDXを探る(講義)」

株式会社N.G.C 代表取締役 鈴木 康太朗 氏

兼松フューチャーテックソリューションズ株式会社

第三営業本部 システムソリューション営業部 小林 修 氏

◆2日目

「農場のDXを探る(農場見学)」

株式会社N.G.C 代表取締役 鈴木 康太朗 氏

3) 第2回役員会

日時：令和5年12月19日(火)

方法：現地参集・WEB併用方式

内容：若い養鶏経営者のための春季セミナーの企画 など

4) 第3回役員会

日時：令和6年3月22日(金)

方法：現地参集・WEB併用方式

内容：次年度の活動計画・現地研修会について など

5) 若い養鶏経営者のための春季セミナー

日時：令和6年3月22日(金)

方法：現地参集・WEB併用方式

参加者：34 名

内容：

①「配合飼料設計の基本について」

株式会社ゼンケイ 取締役本部長 高杉 庄太郎 氏

(5) 情報活動

「全鶏つうしん」を中心とした情報提供 38 回

※希望者に P D F ファイルでメールや FAX を送信した。

(6) 研究・調査活動

1) 飼料価格実態調査 (4 回)

4－6 月期、7－9 月期、10－12 期、1－3 月期

2) 卵の需給状況調査 (4 回)

(7) 各種団体との検討会等

1) 一般社団法人日本養鶏協会、鶏卵輸出部会などとの各種打ち合わせ

2) 株式会社ゼンケイ (特別賛助会員) との意見交換、情報交換

3) 農林水産省生産局食肉鶏卵課との意見交換

4) 農林水産省消費安全局動物衛生課との意見交換